

令和5年度自己評価及び学校関係者評価書

1 本年度の学校評価をふりかえって

秋商キャリア教育をもとに、日々の授業を大切に、ビジネス実践や外部講師などを活用して、社会人基礎力を身に付けさせ、主体的に物事を考えさせる取り組みをしている。

教職員は、一人一人が高い意識を持ち、学校全体として組織的な教育活動に取り組んでいる。今後も商業高校の教育の特色を活かし、秋田県商業教育の中心校としてその役割を果たし、学校の発展に努めていきたい。

2 評価結果の概要

分野	評価項目	取り組み状況と成果・課題	評価	改善策	学校関係者評価の意見
本年度の目標	・生命を尊重する心や他者を思いやる広い心を培うとともに、挨拶や礼儀を重んじ、心身の鍛錬に励み、心身ともに健全で人間性豊かな生徒の育成に努める。 ・秋商キャリア教育の実践を通して、な幅広い教養と確かな学力の向上を図り、生徒一人一人の進路実現の達成に努める。	・学力向上と資格取得に向けた積極的な取り組みを推進する。	B	・各コースの特色を生かした高度な資格取得やコースの柱となる資格を設定し、取り組む。	・地域と学校との連携を深めることが必要である。学校が災害等の避難場所になっていることから、防災訓練を学校と地域と連携して実施してもらいたい。
教育課程・学習指導	・主体的・対話的で深い学びの実践の推進と基礎学力の定着を図り、学力の向上を目指す。 ・学習指導要領改訂の基本的な考え方をふまえた評価方法の改善と新教育課程の円滑な実施に取り組む。	・授業内でのICTの活用はされているが、思考力や判断力、主体性の育成に結びつけるためのさらなる研鑽が必要である。	B	・内規や評価システムを含めた学習評価の体系的な整備を進める。 ・生徒の思考力や判断力、主体性を伸ばす手立てとしたICTの活用方法について研究する。	・生徒の自転車事故が多い。ヘルメットの活用をもっと呼びかけてはどうか。 ・時代にあった学科コース編成を行ってはどうか。
進路指導	・進路意識の早期確立と学年進行に応じた継続的な指導を行う。 ・主体的な進路決定のための進路情報の的確な収集と提供を行う。	各種説明会や講座を実施することにより、継続的な指導と進路意識の醸成を行うことができた。さらに進路業者や大学、企業からの最新の情報を進路指導に活かすことができた。	B	・3年間の進路指導の流れを文書で生徒や保護者に示す。基礎学力の向上や書く力を伸ばすための方策を検討する。	・コロナの影響で特に同年代とコミュニケーションをとることを苦手とする学生が増えている中で、AKISHOPの活動や外部機関と連携した授業実践は、有意義な取組と考える。
生徒指導	・高校生らしい立ち居振る舞いや公共心を身に付けさせる。 ・登下校時の交通安全指導を実施する。	・例年よりも多く発生した自転車事故や生徒の問題行動に対しては緊急全校集会や放送等で注意喚起を図った。	B	・外部講師による講演等を活用し、正しい知識と実践力を身に付けさせる。校内外のルールやマナーについての指導を継続する。	
保健	・感染症拡大防止のための呼びかけを行う。 ・校内の安全・美化に努める。	・全職員の指導のもと、感染症の拡大はある程度抑えられ、また教室環境は適切に維持されている。	B	・感染症拡大防止のための呼びかけの継続と欠席者情報の管理方法を検討する。	
教育相談	・生徒の健全育成に努め、心身の諸問題の解決を積極的に支援する。	・スクールカウンセラーの来校予定を周知し、カウンセリングが有効と思われる生徒には相談を勧めた。	B	・他分掌との連携を強化し、生徒の事故防止につとめる。	
特別活動	・生徒会委員会活動の活性化を図り、自主的・創造的生徒会活動を支援する。 ・特色ある学校行事や部活動を支援する。	・学校行事などの予定変更が多かったが、事前の準備調整を行うことで概ね計画通りに実施できた。	B	・生徒が意欲的に取り組む学校行事を継続する。	
図書	・読書活動を推進するとともに、情報センターとしての図書館を目指す。	・読み聞かせボランティアやビブリオバトルに参加することにより、読書活動の推進に結びついた。	B	・生徒が読書に興味をもつよう、クラス文庫を充実させ、「図書館だより」等の広報活動に力をいれる。	
家庭地域	・学校情報をホームページ等で発信し、地域や家庭との連携を推進する。	・ホームページや地域への回覧紙「秋商だより」を通して学校情報を定期的に外部に発信することができた。	B	保護者参加型の学校行事や、地域と連携した防災訓練の実施等を検討する。	

